

令和5年度 信学会松本神映幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

育て、神映の木、「自立」の根を張り、「体験」の幹を太らせ、「交流」の枝を伸ばそう

2. 本年度の重点目標

<三つの主活動>

「自立」園生活のリズムに慣れ、社会生活の基本を身に着けます

「体験」体験の日、さまざまな活動にチャレンジします

「交流」異年齢交流や集団あそびで、豊かな人間関係を築きます

<主体的な学びへの支援>

- ・友だちとの関わりの中で 集団遊び 伝えあい
- ・素材あそびの充実を図って アイディアややり方の共有
- ・育ちを支える活動や遊び 場作り 共感と認め 丁寧な受け止め

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・環境が古いなりに、大切に使う様子がわかる。園の良さは職員である。一人ひとりを大切にする温かさを引き続き、園職員の統一意識としてそのような伝統を残してほしい。

・園の体験の日は、様々な経験ができると好評。それが信学会松本神映幼稚園らしさであるので、そこを外部に公表できるとよい。その方法などが課題。

・園の教育方針はわかりやすく、子どもの姿からも取り組みがわかる。しかし、具体的な様子が伝わらない事が多い。直接参観できる機会、直接説明を聞く機会を増やすなどの工夫も必要。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

・体験の日、主体的な活動についての試行錯誤は続いているが、子どもたちの遊びの様子が変わり、自ら行う、やってみようという意欲や工夫、活動を通しての達成感と自信につながっている。そのような活動をすすめるために対話も大切に考えてきた。今後も続けていきたい。

・園の第1の売りは先生であること。職員の心身ともに健康である事が温かく一人ひとりを大切にする保育につながると感じる。